

蘭越町立学校の教職員に係る超過在校等時間の公表（令和6年度前期）

1 公表に向けた考え方

蘭越町教育委員会では、「学校における働き方改革蘭越町アクション・プラン（第3期）」において、教職員の在校等時間から所定の勤務時間を減じた「時間外在校等時間」を1か月45時間以内、1年間で360時間以内とする目標を掲げています。

町立学校において、令和2年度に導入した出退勤管理システムにより把握した教育職員の超過在校等時間を定期的に公表し、働き方改革に関する取り組み状況を確認することにより、長時間勤務の縮減に向けた実効性を確保します。

2 町立学校教育職員の超過在校等時間の状況（教職員数 小学校30名、中学校16名）

区分	学校種別	超過在校等時間別人数			全職員平均
		45時間以下	45時間超	80時間超	
令和6年 4月	小学校(2校)	19人(63.3%) 13人(43.3%)	11人(36.7%) 14人(46.7%)	0人(0%) 3人(10.0%)	40時間49分 49時間25分
	中学校(1校)	11人(68.8%) 8人(47.0%)	5人(31.2%) 7人(41.2%)	0人(0%) 2人(11.8%)	40時間36分 50時間44分
令和6年 5月	小学校(2校)	20人(66.7%) 20人(66.7%)	10人(33.3%) 10人(33.3%)	0人(0%) 0人(0%)	38時間46分 39時間45分
	中学校(1校)	12人(75.0%) 10人(58.8%)	4人(25.0%) 6人(35.3%)	0人(0%) 1人(5.9%)	35時間45分 40時間44分
令和6年 6月	小学校(2校)	23人(76.7%) 19人(63.4%)	7人(23.3%) 10人(33.3%)	0人(0%) 1人(3.3%)	35時間24分 41時間27分
	中学校(1校)	10人(62.5%) 10人(58.8%)	6人(37.5%) 7人(41.2%)	0人(0%) 0人(0%)	43時間52分 38時間00分
令和6年 7月	小学校(2校)	19人(63.3%) 24人(80.0%)	11人(36.7%) 6人(20.0%)	0人(0%) 0人(0%)	36時間35分 33時間53分
	中学校(1校)	11人(68.8%) 15人(88.2%)	5人(31.2%) 2人(11.8%)	0人(0%) 0人(0%)	36時間29分 29時間55分
令和6年 8月	小学校(2校)	30人(100%) 30人(100%)	0人(0%) 0人(0%)	0人(0%) 0人(0%)	11時間27分 18時間22分
	中学校(1校)	16人(100%) 17人(100%)	0人(0%) 0人(0%)	0人(0%) 0人(0%)	13時間56分 15時間15分
令和6年 9月	小学校(2校)	25人(83.3%) 22人(73.3%)	5人(16.7%) 8人(26.7%)	0人(0%) 0人(0%)	31時間4分 35時間38分
	中学校(1校)	11人(68.8%) 13人(76.5%)	5人(31.2%) 4人(23.5%)	0人(0%) 0人(0%)	34時間18分 33時間25分

※ 下段は、前年同月の数値

< 補足事項 >

※教育職員とは、校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭等をいいます。

※在校等時間とは、教育職員が在校している時間を基本とし、校外で活動する時間を加え、自己研鑽その他業務外の時間及び休憩時間を除いた時間をいいます。

3 令和6年度前期における超過在校等時間の考察について

今年度は、特に小学校で超過在校時間の減少しており、職員会議の開催軽減や業務の効率化などの成果が出ているとみられる。中学校においては、教員が1名減少しているものの、月によるが、部活動指導員の配置が定着していることもあり、平均超過在校等時間が減少している。また、昨年度まで特定の職員が大きく超過している状況が続いていたが、今期は80時間を超える職員はいなかった。今後も、意識改革や業務の平準化に向けた対策が求められます。